様式２
（2019年度）

事業実績報告書

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

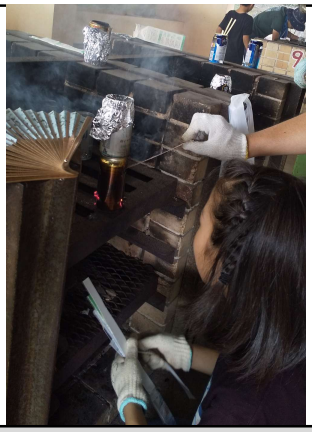
講座番号	B-17	講座名	むささびっ子の森たんけん隊
記載日	######	団体名・企業名	NPOチームばんどり

〈講座全体の概要〉(300字程度)

森の中で楽しみながら自然に親しみ、子どもの発想で思いっきり遊ぶことでその「生きる力」を育み、持続可能な社会づくりに貢献する人材を育成することを目的としています。森の奥深くへの探検や木登り、雨の日の森体験、森林保全実践、焚き火、炊事体験など学校や家庭ではやりたくてもできなかった活動にチャレンジしました。親御さんたちにとっては、子の成長が確認できる機会となったことでしょう。

※写真1の説明

5/5 第1回 あいち海上の森センターにて自分たちの冒険あそび場を手入れしました。



※写真2の説明

9/23 第4回 定光寺野外活動センターにて空き缶を使ってサバイバル焚き火料理をしました。

〈 企画・運営者の声（感想）〉(350字程度)

自分たちで遊び場に何を作るか、そのためにどう整備するかを決めました。公園とは違って平坦ではないし木もたくさん生えています。そんな場所を自らの力で切り開き、整備して遊ぶというダイナミックな体験は、子どもたちに生きる力を与えてくれたはずです。大人は子どもの指示に従って、力仕事で威力を発揮しました。初めてのシャワークライミング、アルミ缶を使ったサバイバル焚き火での調理体験は、チャレンジ精神を試されるアドベンチャー体験でした。大人も子どもも、一緒にへとへとになることで家族や仲間との連帯感が高まりまりました。

〈 受講者の声(実感した反応及びｱﾝｹｰﾄより）〉(3～5点、計350字程度)

・ゆったりと森で過ごせたことがよかった。気をノコギリで切ったことが楽しかった。
・雨の中のハイキングは気持ちが良かった。子どもたちが一生懸命に歩く姿が良かった。
・子どもたちが協力しながら川や岩を登る姿が印象的でした。
・大人の力を借りずに課題をやり遂げたのがとても良かった。
・空き缶でご飯を炊くことはとてもシンプルだが、根気のいる作業であった。
・非常時には大変役立つサバイバル術だと思った。